

# MHL 44th Season サスペンションガイドライン

## ゲームミスコンダクトペナルティを科せられたプレーヤーおよびベンチスタッフ

No.	条項	反則の内容	自動的な追加処分 (試合数)
1.1	第59条 ii.	同プレーヤーが1試合中に2度目のミスコンダクトペナルティを科された場合、そのプレーヤーは自動的にゲームミスコンダクトペナルティとなりその試合の残り時間の退場となる。	1
1.2	第67条 iv.1	マイナーペナルティまたはベンチマイナーペナルティを自チームに対して科したレフリーに対し、不快、冒犯的、侮辱的な言葉や行為を浴びせる選手またはチームスタッフ。試合終了後にフロア上またはそれ以外の場所でもこの行為があった場合には、それ以前にマイナーペナルティまたはベンチマイナーペナルティを科されていなくても、ゲームミスコンダクトペナルティを科される。	2
1.3	第80条 v.	その時点でフロア上で、敵対する2人の選手の間で進行しているファイティングに最初に介入した選手(「3番目のプレーヤー」)には、ゲームミスコンダクトペナルティが科される。	1
1.4	第80条 vi.	レフリーにやめるよう命令されてもファイティングをしようとした、またはファイティングを続けた選手、またはファイティングをやめさせようとしたレフリーに抵抗した選手は、ダブルマイナーペナルティまたはメジャーペナルティおよび+自動的なゲームミスコンダクトペナルティまたはマッチペナルティを科される。	2
1.5	第80条 vii.	リンク内外でファイティングに関わったチームスタッフは、ゲームミスコンダクトペナルティまたはマッチペナルティを科される。	1
1.6	第80条 vii.1.1	フロア上の選手のいざこざで、プレーヤーズ・ベンチまたはペナルティ・ベンチを最初に出た選手には、ダブルマイナーペナルティ+自動的なゲームミスコンダクトペナルティが科される。	1
1.7	第80条 vii.1.2	選手のいざこざの間にプレーヤーズ・ベンチを離れたその他のすべての選手には、ミスコンダクトペナルティが科される。選手のいざこざの間にペナルティ・ベンチを離れたすべての選手には、マイナーペナルティ+ゲームミスコンダクトペナルティが科される。これらのペナルティは、以前のすべてのペナルティが終了してから遂行される。たとえフロア上でのファイティングに加わらなくても、プレーヤーズ・ベンチまたはペナルティ・ベンチを出るといった行為のみで、この規則に違反することになる。	1

※但し、このガイドラインは自動的な追加処分の最低出場停止試合数であるが、その都度「審議委員会」を開催し出場停止試合数を決定する。

※すべてのサスペンションは、当該Divisionにおいてシーズンを持ち越して適用される。